

【学校評価結果表】

令和6年度 成果と課題及び改善に向けた方策について

【児童の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校のあそびどうぐや、きょうしつは、つかいやすい。 7月(96%) 12月(96%)	・教室環境の整備、遊具や教具の整備・点検、安全点検を基にした危険個所の把握と改善、モニターやタブレット等の積極的な活用等、子どもたちが安心して学習に参加できることを基盤に据え、引き続きハード・ソフト両面から子どもたちの学びを支えていきます。
△図書室で本を借りたり、読んだりしている。 7月(82%) 12月(80%)	・図書委員会を中心とした、子どもたちによる主体的な取組みの充実を図るために、学校図書館担当職員、学校図書館支援員と連携し、積極的な図書室利用の推進に向け、読書月間の取組をはじめさまざまな工夫を重ねてきました。一人あたりの貸出冊数は年々増加傾向にあるので、今後も引き続き、読書活動推進に向けた環境づくりに取り組んで参ります。
【保護者の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校は、PTA活動や地域行事に協力的である。 7月(92%) 12月(96%)	・子どもたちの健やかな成長と学力向上に向けて、家庭からの手厚いサポートに心より感謝申し上げます。日々の学習活動が円滑に進められるよう、学校と家庭が手を携えてお子様の成長を見守ってまいります。
△うちの子は、家庭学習をしかり行っている。 7月(78%) 12月(79%)	・これまでの反省をもとに、家庭学習の時間確保と子どもの主体的な取組の推進に向けて継続して指導・支援を行ってまいりましたが、個々の取組の差がみられ、引き続き学校と家庭の協力体制の向上を強く感じております。今後、個別最適な学びの定着に向け、児童が主体となった「メディアのルール作り」や「タブレット活用した個に応じた家庭学習」等学校と家庭が協力した取組を充実して参りますので、引き続きご家庭のご協力をお願いいたします。
【教職員の評価の高い項目と低い項目】	
◎学校は、安全対策に努めている。(けが・事故・不審者・防災・衛生管理等) 7月(98%) 12月(96%)	・緊急時の保護者引き渡しや集団下校、火災、地震、不審者対応の避難訓練、定期的安全点検、修理・修繕等、校内でのけがや事故を未然に防ぐための取組を徹底しています。引き続き「未然防止」「早期発見」「迅速な対応」を重要課題として位置付け取り組んで参ります。
△学校は、地域の特色を生かした教育や「夢・憧れ・志」を育む取組を行っている。 7月(88%) 12月(88%)	・高来西小学校地区の特色でもある「地域と連携した学習」は大変充実しており、地域の皆様の積極的な関わりや働きかけにより、「夢・憧れ・志」を育む充実した学びへと繋がっています。「地域に根差した高来西小学校」を目指し、今後も引き続き、地域の皆様のお声を聞き、お力添えを頂きながら、学習活動の充実を図って参ります。
【保護者で昨年度より評価が高まった具体的項目】	
学校は、いじめの予防や早期発見に努めている。 R5(65%) R6(83%)	・いじめの予防や早期発見に向けての学校の取組が見えにくい等のこれまでの反省を基に、毎月のなかよしアンケートを継続し、面談や相談などを通して早期発見・対応に努め、保護者との連絡・相談を積極的に進めて参りました。また、高西の子どもは担任ひとりではなく職員全員で見守ることを基本とし、安心して過ごせる教室・学校づくりに全職員で努めてまいりました。今後も引き続き、全職員で細かな変化を見逃さない体制を整え、学校と家庭が連携しいじめ予防の取組の充実を図ります。
【保護者・職員共に評価の高かった具体的項目】	
◎学校は、PTA活動や地域行事に協力的である。 ◎学校は、学級通信、学校だより等で学校の情報や出来事を公開している。	・高い評価をいただいた項目ですが、これまでの保護者・学校・地域の連携や協力が積み重ねられた結果だと受け止めております。すべては「子どもたちの健やかな成長」のために、現状に甘んじることなく、学校・家庭・地域のさらなる連携や結びつきを高めていけるよう、開かれた学校を目指し日々の学習活動の充実にも努めて参ります。
その他(保護者の声から)	
悪天候等でやむを得ない場合は車で通学していますが、なるべく徒歩で通学するよう促しています。ただ、通学路を往来する車のスピードが早く、歩道も狭いので安全に登校できるか日々心配です。	・学校周辺は道が細く、登校する時間帯は通行量も多いです。登下校の安全について、子どもたちに引き続き指導を重ねて参ります。ご家庭でも話題に上げていただければと思います。
外の多目的トイレがとても汚かったので、清掃をしかりして欲しいです。	・清掃が行き届かず申し訳ありません。外トイレだけでなく、校内環境の安全・清掃活動等について、再点検を進めて参ります。

【学校関係者評価委員会より】

○最重要課題としていじめの予防について学校全体で取り組んでおり、一定の成果が見られる。取組の家庭への周知を続けてほしい。人権擁護の面からも「SOSミニレター」の積極的活用等により、小さな問題も確実に拾い上げながら、いじめの未然防止をより確実なものとしていく必要がある。

○スマートフォンやゲーム、一人一台端末(タブレット)など子どもたちを取り巻くメディア環境はこの数年で激変し、子どもたちのメディアとの付き合い方は喫緊の課題として、学校だけでなく家庭や地域と共に向き合っていく必要がある。SNSトラブルの低年齢化や、夜中もスマートフォンを触り、生活習慣の乱れにつながるなど、スマートフォンやゲーム機の管理に苦悩している家庭も多いと聞く。子供対象のメディア講習会はもとより、保護者や地域対象のメディア講習会の開催と積極的参加を促し、メディアのルール作りも含めて適切で効果的な活用方法を学校と家庭(PTA)が中心となり、進めていくことが必要ではないだろうか。

○通学路について、民生委員さんや交通安全指導員、駐在所警察官等の協力を得ながら安全に登校できるよう見守りを続けていきたい。線路横など指導が必要な場所については、学校で再確認し指導を続けていく。